

一般質問

9人の議員が町政を問う！

一般質問の動画はQRコードから
ご覧ください

令和5年9月22日に議会基本条例の一部改正を行い、質問者は、一問一答と一括方式のどちらかを選べるようになりました。議員各々が論点や争点を明確にし、政策提言などに繋げていくために方式の選択を自由にしたものです。

高橋 敬子 議員

指定避難所の整備について
水源について
みくまるつと脱炭素化モデル事業と地域熱
供給事業状況調査業務委託について
読書について

P18

鈴木 博 議員

放課後児童クラブの支援について
ラ・フランス温泉株式会社の経営について

P19

阿部 美佳子 議員

オーバードーズ対策について
不登校児童生徒の支援について

P20

浅沼 有朋 議員

農業政策について
町道整備について

P21

佐藤 光夫 議員

学校教育費の見直しによる家庭支援について
給食時間の確保について

P22

及川 ひとみ 議員

暮らしの支援策について
子どもたちの支援について
ごみの減量について

P23

橋浦 栄一 議員

今後の介護支援について
自転車競技場の認知、体験学習について

P24

村上 みさと 議員

県央ブロックごみ・し尿処理広域化
基本構想について
インクルーシブ防災について

P25

藤原 恵子 議員

公民連携によるオガールプロジェクトの
まちづくりについて
内部統制制度の導入について

P26

一般質問とは…

行財政全般にわたり、執行機関に対して事務の執行状況、将来に対する方針などについて質し、あるいは報告や説明を求め又は質すことを言います。

- ・一問一答 案件に対する疑問点を一つずつ取り上げ、答弁を繰り返す
- ・一括方式 質問したい複数の項目を一括で取り上げる
- ・質問時間 一人 30 分以内とし、答弁は含まない





たかはし けいこ
高橋敬子 議員



総合福祉センター

安全性を確保せよ

災害避難

答 一人一人の備えを推進したい

問

総合福祉センターが避難所として指定されているが、狭い坂道で要配慮者が避難しづらい。改善すべきではないか。

町長

総合福祉センターは身障者用トイレなどの設備が整っているが、徒歩や自転車などでは移動しづらい。単独の避難ではなく家族や地域住民の支援が必要と考える。

問

隣接する城山公園には近年クマが出没するが、それによる閉鎖時の対応は。

町長

城山公園はあくまでも一時避難所と

している。避難情報を発令する際は、クマが出没する地域であっても必要に応じて避難所を開設するので、出没警戒中であることを認識した上で避難行動をとってほしい。

問

中陣公民館も避難所と指定されているが、下長根4号線には街灯がなく、夜間の災害時に支障が出る。改善できないか。

町長

新たな街灯の整備は、各地区で負担してもらい設置しており、公益性が高い場所の電気代は町で負担している。

脱炭素

失敗は許されない

答 適切に進めていく

問

みくまるつと脱炭素化モデル事業の採算性はもうなっているか。

町長

この事業で導入するメタン発酵バイオガス発電設備は経済性が優れている。また、生ごみを収集して発電することが資源循環と町内経済循環につながっていくと判断する。

問

補助金で対応したとして、更新の時期に対応できるか。

地球温暖化対策課長

設備導入には初期費用がかかるが、今の判断で10年目には損益が反転すると試算する。煮詰め切れていない部分はあるが、信頼に依拠していきたい。



メタン発酵バイオガス発電設備（イメージ）

問

地域熱供給事業状況調査業務委託の分析結果は、令和6年2月末までをめどに報告されとのことだがどうなっているか。

地球温暖化対策課長

現在調査を行い、計画の提出はあるが、不確定な情報もある。随時、議会に報告していきたい。





すずき ひろし
鈴木 博 議員



求む！放課後児童クラブの充実

学童保育

民営と町営の支援を公平に

〔答〕 運営の仕組みは同様

問

放課後児童クラブは町営8カ所、民営7カ所がある。一人親世帯で住民税非課税世帯の使用料は2500円だが、民営の学童クラブ入所者には支援がない。公平性はどうか考えているか。

町長

民営では、利用者数などから算出された運営委託費を元に各施設が利用料金を設定し、独自に減免をしている。町営も同規模で運営している。

問

核家族化が進み共働きが多数を占めることから、放課後児童クラブなど学童保育への支援を強化すべきではないか。

町長

赤石地区においては放課後児童クラブの利用希望が施設定員を上回っている。令和6年度にも新規事業者が一施設を開所する。状況を見極めながら、開所支援や運営支援を効果的に行う。

問

盛岡市では放課後児童クラブ利用給付金制度があり、兄弟利用や経済的に利用困難な世帯に給付を行っている。町で取り入れられないか。

こども課長

盛岡市、矢巾町の支援策は素晴らしいと考える。現在は各施設に運営方針を任せる形だが、他自治体の施策を学び、継続性を考えながら進めていきたい。

経営ビジョンを明確にせよ

〔答〕 複合的に黒字化を目指す

ラ・フランス温泉館

問

コロナ禍を経て、平成31年に比べ利用者数は8割の回復状況だが、光熱費などの高騰などから貸借対照表での純資産は減少している。経営主体とし

て町はどう考えるか。

町長

令和5年5月に新型コロナウイルスが5類へ移行し、回復傾向にある。昨今のサウナブームとSNSの情報発信により、日帰り入浴の利用者は増えている。

問

ライフスタイルの変化やニーズに合わせて、明確なビジョンが必要。今後の経営をどのように考えるか。

町長

多年度の黒字化達成ができるかと判断する。リニューアルに向けて、採算性がない



美人の湯 みんな来てね～

問

と投資は難しい。みくまるっと脱炭素モデル事業などで、年間数千万の経費を賄っていく。インバウンドを積極的に誘致しては。現状、外国人観光客を大規模かつ積極的に呼ぶ事業は難しい。町内の酒造やワイナリーを巡るツアーを民間で行っているため、町としても積極的に支援していきたい。

副町長

現状、外国人観光客を大規模かつ積極的に呼ぶ事業は難しい。町内の酒造やワイナリーを巡るツアーを民間で行っているため、町としても積極的に支援していきたい。

あべみかこ
阿部美佳子 議員

大切なあなたを守りたい

リスク教育に取り組み

薬物対策

【答】包括的な支援を推進

問 児童生徒に対する薬物乱用防止教育にどのように取り組んでいくのか。

町長 薬物乱用の有害性・危険性などについては、学校保健計画に位置付け、中学校および高等学校において年一回の開催、小学校では開催に努めている。令和5年度の実施状況は、小学校6年生、中学校は2年生または3年生を対象に全ての学校で実施し、薬物乱用防止の啓発に努めている。

問 市販薬乱用によるリスクの教育は、

学校教育課長 各学校の養護教諭が市販薬のオーバードーズについても適切に指導している。

問 広がる若年層の市販薬乱用を防ぐために町はどのように取り組んでいくのか。

町長 オーバードーズが非常に危険な行為であることを周知する。心の悩みを一人で抱え込まないよう、町の相談窓口や専門機関の周知、医療機関へのあつせんなど関係機関と連携し、当事者の心に寄り添った「生きることの包括的な支援」を推進していく。

市販薬乱用によるリスクの教育は、

不登校支援

学習環境を確保せよ

【答】学びの保障に取り組む

問 町の不登校児童生徒の現状は。

教育長 令和5年度1月末現在、小学校29人、中学校38人が認知されている。4年度同月との比較で増加傾向にある。

問 全児童生徒が安心して教育を受けることができる環境の確保に向けた今後の取り組みは。

教育長 校内に教育支援の役割を担う教室などを確保し、対応をしている。また、教育支援教室「はばたき」には、5年度、7人に支援をしている。フリースクール「こといろ」と連携し、利用の際は、指導要録上の出席扱い

としている。今後とも、誰一人取り残されない学びの保障として「児童生徒の居場所づくり」や「ICT機器の積極的な活用」などによる学習環境の確保に注力していく。

問 保護者に十分な情報提供がされているか。

学校教育課長 各学校で様々な情報提供をしており、各家庭に選択肢が周知されていると認識している。

問 「メタバース」を活用した居場所づくりの考えは。

教育長 仮想空間の利用は不登校支援として有効とも思われる。当町では時期尚早だが、



フリースクールの様子

問 フリースクールへの公的支援の考えは。

町長 盛岡広域8市町で統一見解が出ていない。補助について町でも検討課題としていく。



議会だより



No.209 令和6年4月24日発行